

## 梅雨の時期に関するお知らせ

名古屋地方気象台は、本日（7月17日）、  
「東海地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

東海地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。向こう一週間は、山沿いや内陸部を中心に一時雨や雷雨となる所がありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、東海地方は7月17日ごろに梅雨明けしたと見られます。

今年の梅雨明けは平年（7月19日ごろ）と比べ2日早く、昨年（8月1日ごろ）と比べ、15日早くなりました。

（参考事項）

平年の梅雨明け：7月19日ごろ（東海地方）

昨年の梅雨明け：8月1日ごろ（東海地方）

梅雨期間の降水量（5月16日から7月16日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）
津	591.0	391.0
尾鷲	989.5	824.4
四日市	642.0	470.0
上野	589.5	383.6

（平年値は、1991～2020年の観測値に基づくものです。）

（注意事項）

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日に変更となる場合があります。

問合せ先：津地方気象台 担当 防災グループ  
電話 059-228-6818（平日のみ）